令和６年度　三重短期大学　学校推薦型選抜試験２次募集　小論文　解答例

問一　（20 字以内）

政府が税金を使って住宅供給をすること。

（19 字）

問二　（60 字以内）

スラムから米騒動のような暴動が起きて、明治以来営々と築いてきた近代国家体制が瓦解するかもしれないという恐怖のこと。

（57 字）

問三　（400 字以内）

ロンドンで流行した伝染病対策としてスラムを再開発することから始まった「ハウジング」を通して、税金を使ってすべての国民に一定の広さと質の住宅をあてがうという考え方が一般化し、ハウジングが行政の仕事となった。日本では、明治末期からの産業革命によって、都市部の急激な人口増加が起こり、スラムが発生したが、行政はこれを放置して、一部の「救済事業」に任せていたところ、米騒動のような暴動が起きてしまった。住宅不足が、国家の治安を悪化させてしまう原因となることが、本文では指摘されている。

現代では、伝染病や過激思想の温床としてのスラムは存在しないが、貧困世帯向けの住宅ケアとしてのハウジングは引き続き行われるべきである。しかし、現代のハウジングの目的はもっと多様化しているといえる。そのため、住宅不足と人口密集の解消のための都市開発や街づくりとしてのハウジングも行われる方が良いように思われる。

（391 字）